

保育所等訪問支援 職員自己評価アンケート

令和7年度
幼児発達支援室

回収率：7/7 100%

評価：4=そう思う 3=ややそう思う 2=あまり思わない 1=思わない

番号	評価項目	4	3	2	1	工夫している点、課題や改善すべき点、その他意見
1	開始前にサービス内容・重要事項説明書など説明をわかりやすく行った。	5	2	0	0	契約前の説明は可能な方には対面でお伝えしている。
2	サービス内容を説明したうえで、保護者が納得し、サービスがスタートしている。	5	2	0	0	家庭での困りごとについても丁寧に聴き取るようにし、保護者が納得する内容説明に努めている。
3	個別支援計画作成にあたり、保護者と園の聞き取りを十分に行った。	7	0	0	0	保護者と園の聞き取りを丁寧に行い、実行可能な計画を立てるよう努めている。
4	作成した支援計画は利用児と保護者の意向に沿ったものである。	7	0	0	0	ご納得いただいてから支援がスタートできるようにしている。
5	訪問支援は支援計画に沿った内容で、効果的な支援となった。	7	0	0	0	職員配置や保育室など園の環境に合わせ、実践できる計画を立案するよう努めた。
6	訪問支援サービスが行われたことで、園、家庭、訪問支援員の三者間で連携が取れたと感じる。	6	1	0	0	園と家庭の思いが一致すると、支援が同じ方向で支援が進むと感じた。
7	訪問後の報告をわかりやすくし、相手が理解していたかを確認した。	7	0	0	0	訪問の数日後には電話にて報告し、1～2ヶ月に一度は保護者面談を通し、様子を共有した。
8	訪問支援員と担任（園長など）との情報共有は十分に行った。	6	1	0	0	園の方針や担任の先生の受け入れにより支援の効果が変わると感じた。
9	不満や要望を訪問支援員に言いやすい雰囲気をつくっている、または話す機会を作っている。	6	1	0	0	訪問時と振り返りの時間に要望を聴き取り、ニーズに合わせた支援を行うよう努めている。
10	要望や苦情およびトラブルには迅速に対応するしくみを整えている。	5	2	0	0	契約時に書面で相談窓口を明示し、受付・分析・対応等職員で共有するしくみを整えている。

自由意見

- クラスの先生、園長先生、他クラスの先生たちとのコミュニケーションの架け橋となる部分も必要と感じました。
- 保護者や訪問させていただく園の話を丁寧に聴き取るように努め、園で実践できる支援について相談し計画を立てました。訪問の振り返りでは担任の先生から、前回助言を受けたことを全職員に伝えたところ、他の子どもにも効果がありましたと伝えていただくこともありました。園と支援員の都合が合わず、訪問日を決めることが難しい場合もあり残念でした。
- 園によって対応が様々ですが、受け入れてくれる園に対してありがたいな、と思いました。また、訪問する中で対象児が少しずつ集団に適應していく姿が見られると成長を感じ嬉しく思いました。できるだけ複数職員で訪問するとなると、日程を合わせるということが難しいことがありました。
- 園の方針や担任の受け入れにより、支援の効果が違うと感じています。今年度訪問した園では、こちらの助言をすぐ取り入れてくださったり、利用児のためにどう関わったらいいかをよく考えて対応してくださったため、三者間の連携もとりやすかったです。
- サービスの内容については、事前にわかりやすく説明していますが、頻度や回数については園のご都合もあり、必ずしも原則通りにはならない場合もあります。その点についても事前に伝えておく必要があると感じました。また、支援の意向について十分に伝わっていないのか、場面（行動観察）の設定が適切ではないと思えることがありました。今後改善していきたいです。

以上